

第2回 池多小学校のあり方協議会 議事概要

開催日：令和6年6月21日（金）

開催時間：19時00分～20時10分

開催場所：池多地区センター

出席者：林会長、中山副会長、奥野監事、田上（和信）委員、藤井委員、

山崎委員、栗林委員、有澤委員、岡崎委員、小谷委員

事務局：学校再編推進課長 山崎 悟

学校再編推進課長代理 高岡 太郎

学校再編推進課計画係主査 春田 圭介

学校再編推進課計画係主事 大関 光貴

《開会》

【司会】 第2回池多小学校のあり方協議会を開催する。

本日、都合により委員3名が欠席している。

林会長に議事の進行をお願いする。

（林会長 挨拶）

《第1回協議会での質問事項等について》

【会長】 前回の協議会において委員から質問があったことについて、
事務局より説明があるとのことで伺う。

【学校再編推進課長】 （質問事項等について説明）

- ・古沢小学校のあり方協議会の状況について
- ・学校の跡地利用について
- ・池多小学校の位置について

【会長】 ただいまの事務局からの説明について質問などあるか。
特に質問もないようなので、議事を進める。

《協議会の今後の活動について》

- 協議会として、今後どのような活動をしていくのがよいか、事前に事務局と話し合いをしてきた。事務局より説明を求める。
- 【学校再編推進課長】 (今後の活動案について説明)
- ・先進地区協議会委員による講演会
 - ・学校見学会
 - ・地区説明会
- 【会長】 先進地区として浜黒崎校下自治振興会長の講演会、それと学校見学会、本協議会による地区への説明会、以上3つが出ていたが、何か意見はあるか。
- 【委員】 浜黒崎小学校の児童は何人か。
- 【学校再編推進課長】 現在の児童数は87人である。
- 【委員】 学校見学会の案として芝園小学校へ行くというのは、どういった理由か。
- 【学校再編推進課長】 富山市が目指す適正規模で教育のモデル校となっている学校を見学してはどうかというものである。
- 【会長】 ほかに何か質問はないか。
- 【委員】 私は、前回欠席したが、前回の協議の結果については、協議会だよりで確認した。4年後には児童数が22名になるということには驚いた。そういうことからすれば、当然、保護者は、やはりたくさんいるところで学ばせたいと考えるだろうし、私たちもそのつもりでいる。今の事務局からの説明は、池多小学校、古沢小学校、老田小学校、この3校で1つになるというのを前提で進めるということか。
- 【学校再編推進課長】 第1回の資料の中でいくつか統合の案をお示ししたが、その一つとして、老田小学校で池多小学校と古沢小学校が統合する案を提示したもので、それがありきの話ではない。
- 【委員】 児童数のことを考えれば、統合は急務だと思う。そうすると最終的には地域住民の意向を聞かないといけないのか、統合するというので押し切っていいのか、この辺はやはり問題だと思う。

- 【会長】 地域住民には協議会だよりを配布して伝えていくこととしている。そうしないと、全員集まって話しをしてもまとまらない。
- そのため、なるべく協議会でたたき台を出して、方向性を決めていきたい。ある程度方向性が決まれば、地区説明会を開き、この協議会ではこういう意見にまとまったという話する。そこで、今日は、先の3つの案を実施するかどうかを決めたい。なぜ浜黒崎が出てきたかといえば、児童が約80名いて、どうしてそんな早く手を挙げたのかと個人的に思っていたところ、浜黒崎校下自治振興会長さんが、お話ししてもいいということであったため、この話が出てきた。
- 【委員】 今の話でいくと、例えば浜黒崎のほうは、現在ステップ2に進んでいる。ということは、その前に地区説明会も終わっているということか。
- 【学校再編推進課長】 行っている。
- 【委員】 そういうことも含めて最初の講演会は聞いたほうがいいのではないかと思う。
- 【委員】 進め方の参考になればいいと思う。
- 【委員】 早く進めたほうがいいのではないかっていうのは同じ意見だが、実施する場合にはどうようなスケジュールになるか。
- 【学校再編推進課長】 それでは、目途をお伝えする。本日が第2回の開催であり、もし講演会を実施するということであれば、第3回で講演を聞いていただき、第4回にその講演の振り返りの意見交換をしていただく。その後、第5回に学校見学会をしていただき、第6回で最終的に協議会としてどういう方向性にするのかということを固めていただく。あわせて地区説明会開催について協議していただき、地区説明会をする。最終的に、地区説明会の後、第7回であり方協議会として方針を決定するという流れで考えている。大体年明け頃に第7回を開催するというようなスケジュール感ではいる。

- 【会長】 そのスケジュールでは遅いのではないか。
- 【委員】 講演会を聞かなかったら早まるのか。
- 【学校再編推進課長】 ほかの地域協議会が、大体このようなスケジュールで進めてきているため、もっと早めたいということであれば、この会議でそういったスケジュールを決めていただくというのも可能である。
- 【会長】 P T Aは何かあるか。
- 【副会長】 P T Aはやはり一刻も早くという考え方である。来年度、再来年度には全学年複式、全校で3クラスしかなくなる状況である。3クラス複式学級というのは厳しいというのがP T Aの意見。そのため、できることであれば1年でも早く前倒ししてやってほしい。このあり方協議会も、本来であれば去年やってほしかったと思うくらい。
- 【委員】 協議会が設立されたのは、P T Aのほうからの要請があってのことと、結局、統合のことだけを考えれば、もう早く進めるしかない。問題は、古沢と老田。池多だけではいつになるかは決められないが、池多だけは早めに方向づけはしとかないといけないという話。あとはほかの校区との兼ね合いになる。
- 【委員】 ここは一日でも早く協議会として統合をお願いしますという意思表示をしたい。待ってたらいつになるか全く分からないし、そのうち任期も終わりだから、このまでいいということになってしまってはいけない。
- 【委員】 それから、地区説明会を開くまでには、やはりそれなりの準備は必要だと思う。市の方が説明するのではなく、当然こちらのほうもある程度理解していて、回答できるような体制でないと、ただ早くしただけでは良くない。
- 【委員】 地区の人は、今現在、孫だとか自分の子どもだとか、学校へ行っている人は物すごく真剣に考えている。でも、全く該当しない人たちは、池多という名前へのこだわりもある。そう

すると、池多小学校はなくなっても池多は池多なんだから、統合という問題には、地区説明会を開いたとしても、反対的な意見出す人はいないと思う。

【委員】 でも、池多で以前に説明会をやったときに反対があった。

【委員】 説明会あったときは、すごく反対があった。

【委員】 でも、今となれば、PTAあるいは保護者会の人たちは、子どものことを考えていこうとなっている。それから、どんな人でも、子どもが22人しかいないとなれば、反対ということもないのではないか。

【委員】 だからこそ、順序立てて早く進めてもらう話をするしかない。

【会長】 であれば、やはりステップを踏んで進めていかないといけない。それから、古沢や老田もある話だから、あまり池多だけが先走るわけにいけない。

それでは、学校見学会はどうか。

【委員】 学校見学会に行ったとして、教員の方から話聞いたりしても、何か参考になるだろうか。

【委員】 老田小学校が統合しても、ちゃんとやっていけるという説明があるのであれば、見学しても意味ないのでないか。

【会長】 であれば、見学会はしないということもできる。

【委員】 あんまり意味がないような気がする。

【委員】 そう言われたら、確かに環境さえ整っていれば別にどこもいいといったら、確かにそう。呉羽は見ても意味ないので。

【委員】 仮に呉羽統合するとしても素人が見ても建て替えないといけないうえに、場所もない。

【委員】 例え学校見学会は、自分たちは見なくてもいいけど、保護者、が見たいと言われれば、参加してもよいのか。

【学校再編推進課長】 問題ない。

【委員】 老田小学校を見るのはいいと思う。老田小学校が受け入れ先となつたとしたら、PTAの人はやはり気になると思う。でも、今は全く関係ないところに行って、学校の施設がどうのこう

- のと言われたとしても、あまり意味がない。
- 【委員】 受入れ先の老田小学校へ行っていろんなとこを見たほうが、意義があると思う。
- 【委員】 老田であれば、少しグラウンドが狭いという意見はおそらく出る。
- 【会長】 保護者の中に行きたいっていう人がいるかどうかは、話してみたほうがよいのではないか。
- 【委員】 古沢という案は一旦置いとくということでおいか。
- 【会長】 古沢と合併しても、何年後かにすぐまた統合になる。
- 【委員】 それありきはやはり大変か。
- 【委員】 2回移動するということか。
- 【委員】 統合してもすぐ複式になるという心配されるというのは分かるが、今の早急にとか、子どものこと考えてといったときに、一次統合という形になるとてっきり思っていた。
- 【副会長】 P T Aとしては一刻も早くしてほしいということで、古沢と来年にでも統合してほしいというのはP T Aの意見。
- 【委員】 先程も出ていたが、老田地区が、どういうピッチで準備されるかというのを考えたときに、老田の準備期間としても、池多と古沢が先に整えておいてもいいのではないか。子どもにはもしかしたらまた老田と一緒になる可能性があるよと。子どもは意外とたくましいところあるから、ああ、そうか、そういうかと。
- 【委員】 子供は慣れると思う。
- 【委員】 古沢と池多の気持ちさえ一緒なら、早いような気がする。
- 【委員】 でも、古沢と池多、今度はどちらに行くのかという話になつたら、またもめたりする。
- 【委員】 老田に古沢と池多が同意しているから、強制的に統合するわけにいかないのか。
- 【学校再編推進課長】 強制的にということは不可能。地域の了解を得ることが前提となる。

- 【委員】 老田は、今現状で十分だから、あえてお願ひして来てもらわなくたって、古沢と池多でうまいこといくなら、それで良いとなってしまうと思う。だから、老田は絶対に巻き込まないといけない。今、小学校の高学年、中学年の親御さんは、すぐ中学校に行ってしまうため、保育園の保護者の方が一番影響が大きい。だから、古沢と池多だけを先に統合したとしても、どこまで維持できるかというところは問題である。
- 【委員】 少子高齢化のことは老田もよく分かっていると思う。
- 【委員】 では、老田が早く動くように。
- 【会長】 それは今、協議会を立ち上げると言われているから、立ち上がると思う。その先に、古沢と話を合わせないといけない。
- 【委員】 それが大事。古沢地区とは一回合同で、ディスカッションする機会を設けたほうが良い。
- 【会長】 講演会というのを古沢と一緒にやれば、それで古沢地区とも顔を合わせられる。
- 【委員】 そこでやはりディスカッションして。
- 【会長】 それまでに学校を見たいっていう人がいるかどうか。
- 【学校再編推進課長】 古沢のあり方協議会では、老田を見学する方向で話をしている。もし池多のあり方協議会でも老田を見てみたいということになれば、それも共同開催にさせていただく可能性がある。
- 【会長】 老田の見学会については、一応募集だけしておいて、行くのであれば古沢と一緒にということで。取りあえず浜黒崎の講演会だけ先に準備するとして、古沢と池多のどちらで実施するか。
- 【学校再編推進課長】 また調整させていただく。
- 【委員】 跡地利用について、何か案はあるのか。
- 【学校再編推進課長】 基本的にはない。
- 【委員】 学校に行っている方は皆さん、賛成されると思う。もし反対されたら、跡地利用のことで反対される人が多いのではないかと思う。それについての案が何かあれば。

- 【学校再編推進課長】 この基本方針上は、統合が決まってから検討に入るということであるため、統合の申入れをされたタイミングで具体的な話をさせていただくことになる。
- 【委員】 それを並行して進めることはできないか。
- 【学校再編推進課長】 統合するかしないか決まっていないところの検討を、民間などを巻き込んでするというのは難しい。
- 【委員】 でも、基本的には池多のあたりだったら、そんな案はないのではないか。さっきの例に出てきたようなまちなかであれば、いろいろなことができると思うが、こんなところに誰も民間の人は来ないだろう。
- 【委員】 先ほど話があったが、池多小学校を避難所として指定しての以上は壊すわけにはいかないのではないか。
- 【学校再編推進課長】 同程度の収容できる施設の代わりがなければ、なかなか壊せない。
- 【委員】 避難所というのは、これだけ現在も問題がクローズアップされているから、建物として壊すわけにはいかないとは思う。耐震がどうかはよく分からないが。
- 【学校再編推進課長】 今、富山市の公立小・中学校は耐震化率100%になっているので問題ない。
- 【委員】 先ほどPTA会長が言わされたように、子どもは少なくなっているのだから統合は進めるしかない。ただ、私たちは地元の振興のことがあるので、市のほうでいろいろ汗かいてほしいと。こちらからはなかなか良い考えは出ない思う。
- 【学校再編推進課長】 地元としてこういうものが必要ということはあるか。
- 【委員】 分からない。先の例であがつたようなまちなかだったらいろんなんあるとは思う。ここでは、何も来ない。
- 【委員】 とりあえずは、何回も協議会はあるから、今は……。
- 【委員】 PTAの思いもあるから、うまくスムーズにいくようにお願いしたい。
- 【会長】 いろいろな意見をありがとうございました。

では次の議題である第4号議案について事務局から説明を求める。

【学校再編推進課長】 (第4号議案について説明)

【会長】 この議案について、何か意見はあるか。
意見なければ、この案で異議はないか。

(異議なし)

【会長】 では、最後に事務局より連絡などあるか。

【司会】 次回、第3回目の池多小学校のあり方協議会については、浜黒崎地区の自治振興会長の講演ということで日程を調整の上、改めて案内させていただく。

【会長】 古沢と一緒に実施するということで良いか。

【司会】 古沢の会長、また林会長にも日程調整させていただく。

【委員】 見学会も一緒になるということで良いか。

【司会】 一緒に考えたい。学校見学会については、学校の日程を確認し、また調整させていただきたい。

【委員】 人数は何人までか。

【司会】 できるだけ対応したいと思うが、予算の範囲内のバスしか用意できない。

【委員】 何月頃か。

【司会】 それも改めて調整させていただきたい。

【委員】 それでは、日が決まり次第、保護者には案内すればいいか。

【司会】 それで間に合うと思われる。

【委員】 跡地利用のことで、市街化調整区域で開発について、市長の独断でやるわけにはいかないのか。

【学校再編推進課長】 個別に特例として許可するということはない。

先ほどの基本計画の中でも説明したが、市としての大きい考え方でいえば、今あるものを減らしていくかないと、市の財政が持続可能な状況にならないということで、減らしていく方向にある。ほかの部署に跡地の活用希望はないかということで照会しても、なかなか手を挙げるところがない。もちろん

絶対できるというわけではないが、地元がこういった施設が必要であるということを具体的に要望された場合、行政としては跡地について検討しやすい。

- 【委員】 地区から要望を出したら、そのとおりに進むということか。
- 【学校再編推進課長】 要望なので、絶対かなうかどうかはわからない。
- 【委員】 地元でそんないい案なんか多分出ない。
- 【学校再編推進課長】 ただ、行政からこういったものはどうかというのはなかなかできない。
- 【副会長】 財政的に厳しかったら何もできませんと言われたら、なかなか前に進まない。例えば、きちんとした要望があれば通します、きちんとした理由があれば通しますっていうようなものがあれば、こここの地域の人たちも真剣に考えて、何かいいものを出せるのではないかと思う。できるかどうか分かりませんが、要望を出してくれと言われたら、最初から通るわけないというふうになるだろうし、こここの地域がもっと潤うようなものを学校の跡地に置いてもらえたうれしい。これはPTA会長じゃなくて地域の人間として。
- 【学校再編推進課長】 御要望の前に検討の段階でも相談いただければ、担当に取り次がせていただく。
- 【会長】 他に質問はないか。それでは、これで本日の協議を終了する。

―― 了 ――